

**製品名: AGT マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80753**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	53kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AGT
別名	ANHU
遺伝子 ID	183.0
SwissProt ID	P01019
免疫原	大腸菌で発現したヒト AGT の精製された組み換え断片。

**背景**

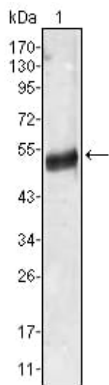
AGT（プレアンジオテンシノーゲンまたはアンジオテンシノーゲン前駆体）は肝臓で発現し、血圧低下に反応して酵素レニンによって分解されます。結果として生じるアンジオテンシン I は、アンジオテンシン変換酵素（ACE）によって分解され、生理活性酵素アン

ジオテンシン II を生成します。このタンパク質は血圧の維持、本態性高血圧および妊娠中毒症の発症に関与しています。この遺伝子の変異は本態性高血圧の感受性と関連しており、尿細管形成不全（尿細管の発達における重篤な障害）を引き起こす可能性があります。この遺伝子の欠陥は、非家族性構造的心房細動や炎症性腸疾患との関連も報告されています。

## 研究分野

-

## 画像データ



ヒト血漿に対する AGT マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析 (1)。